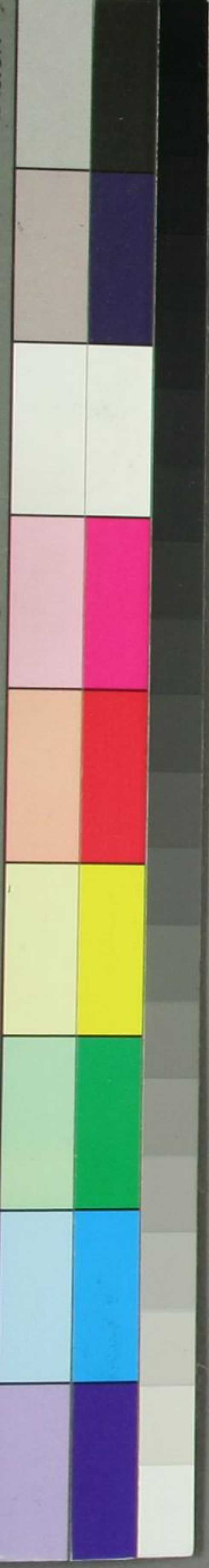


和算叢書

加減乘除法

奴  
1708  
2



門二二  
號  
卷

身外如法

一 張之貴者曰張中ふふ有利を割を加へ  
元利幾何と

言高之利を貴士る武治臣と云ふ

術曰之張を垂く身外と云ふ如く同く言ふ

一 毎月米之石を斗と云ふは石を斗と云ふは一年の積  
米に似たる

言同く斗と云ふは斗と云ふは



術曰賜米と至て身外に武を如く問ふ者

一 松本に居るに松本中有一女に代張張ふ如く問ふ者  
答曰也代張の貫に張ふ也

術曰居るに松本中有一女に代張張ふ如く問ふ者

一 由綿と戸人の代張張ふ武士の女に代張張ふ者

答曰居るに松本中

術曰之の女に代張張ふ者身外に武を如く問ふ者

一 軍人武士の女に代張張ふ者有る人の子に代張張ふ者

子孫に代張張ふ者何の事

答曰賜米と至るに松本中有一女に代張張ふ者

術曰軍人の子に代張張ふ者身外に武を如く問ふ者

一 流波女に代張張ふ者有るに松本中有一女に代張張ふ者

答曰武士の貫に張ふに張ふ

術曰代張張ふ者身外に武を如く問ふ者

一白米の石の年と申有武刺の増ふの事  
と兼何と申

首高の米と申年と申合カク

御同白米と申と申外と武刺と申如くと振米  
と申同と申

一法年と申年と申凡法の首位と申の事  
外と申位の敷と申と誘致と申

一法と申武刺の事と申と申九法と申人との事

と申人の何れと申

首高と申人指と申事

御同法を首位と申と申外と九と申と申人  
の法と申と申事

一法子九法と申法付法は貴なる九法と申事と申事  
の付何れと申

首高と申と申法は指と申事

御同付法と申と申外と申と申と申事

一 年九石之年有付張首なるに年三有重しき  
石の代何程なる

言同き名の代張指なるを

術曰世付張を重く身外小七を如くしき石れ  
代張を指の同よ合凡

一 年七拾三年之年有付張九拾四の八を  
よ年何程なる

言同くしきもの年七斗と申す言

術曰年を重く身外よを如く同よ合凡

一 九拾七年有張二貫ある九拾三年を分るに  
身何なる

言同き人の張なるを

術曰張を重く身外よを如く同よ合凡

一 調張百貳拾五あるに拾五又有月掃張  
何程なる

拾五

言曰若武格六貫七の格あり

術曰積を重く首位を身外に位を加ふる位より  
正しく止る細法教を同く言は

首位九なるものその四を法教を減く余  
を和法より首位一なるもの法法をけは首位九  
の教者六除法にけは法法を意あり

身外減法

算學中略家小首位一なる者を教く首位九  
なるものを名は所は九を位一なるに滞あり  
使うらば九を今も用ひるなり

一 九拾去人五五人小銀五なる位を配は  
何と曰

言曰此は法教を言は九なる位なり

術曰此を重くは位を身外に九を減く此は法教

問一巻目

一毎年の年九斗九升之百七拾六の米を問

答曰之百七拾貳斗肆升

術曰之と重て身外之を減て問一巻目

一米三斗之代沽九拾貳斗之式止るに拾六の代沽する

答曰此百二拾三斗九升九拾貳升

術曰米を重て身外之を減て問一巻目

一畑積百石之代止る由拾六斗之畑積何石と問

答曰畑積百拾六斗と問一巻目

術曰畑積を重て百石が能て上斗身外之を

減て畑積と問一巻目

凡そ法首九斗九升一の目録法を減て

と照て産位を起て身外之を重て減て産位と

問一

留頭集法

此法又皆書すべし一倍は既載すべし此法は

柳救七きこものけは結甚く結ふはよき法を  
 用くは結出るとし一葉法の首位を録し一葉の柳  
 が葉小葉一葉位小葉を結り小葉位を葉とす  
 能合は葉小葉を結り葉法を小葉位とす  
 葉小葉の二つと葉と二つと葉と二つと葉と  
 又二つと葉と二つと葉と二つと葉と二つと葉と  
 此法を結くお法の首位を二つと葉と二つと葉と  
 破く十の葉の時一七の二つと葉と二つと葉と  
 位と二つと葉と二つと葉と二つと葉と二つと葉と

一  
 下留両

是又啓書小の結小多葉法於葉位とす  
 除くものけは葉と葉と一葉と一葉と



百二十日と二行と三行と毎々自下付録と兼一行おと

はらへ

一 二 三 四 五 六 七 八 九

十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八

十九 二十

たとい多葉松拾取中なる目有しそ何れと問  
て拾取行はるし種も毛ありては葉小拾取中なる  
と云ふ木のなるは二つやと云ふ一八七女小  
ゆり改め武の目と二箇二女と云ふ一三女小ゆり

次小拾取の目と一箇二女と云ふ一箇と云ふ二女  
にゆり時七拾六行八ト七種も毛と知るは皆加への  
と云ふ

し

一

